

第7回嬉野市教育委員会議（定例12月）

平成30年12月20日（水）13:00～14:20

塩田公民館 視聴覚室

1 開会

12月の定例教育委員会の後で教育委員会の評価をいただくための評価委員会を開催している。評価の参考としてもらうため評価委員の皆さんにも今回は傍聴いただく。学校現場では来年度の異動に向けての異動希望調査書を教員に提出させ、とりまとめを行っているところである。

2 会議録署名委員 ○○委員、○○委員

3 議題

（1）報告

①平成31年度人事異動について

（教育長） ・今回の人事異動方針の一つは学校の運営体制の強化をすること。もう一つが教員の個々の職能成長の促進、そして三つ目は学校づくり推進により教育の充実を図ることとされている。全県的な視野にたつて適材適所に異動をさせ、広域人事の実施のため地域間交流や地区間交流を進めていく。

②12月議会一般質問について

（教育長） ・12月6日に開会し一般質問は11日から3日間行われた。諸井議員の県内2校目のアベック優勝が出来た要因については、心技体の充実と先生方の熱い指導、地域の方の応援などがうまく絡み合っ結果が出たと思われる、と答えている。卒業後のアスリートとしての職場があるかどうかについては、なかなか厳しい旨を答えている。九州大会・全国大会への出場に対する支援については嬉野市では中体連大会出場費補助金の制度で支援を行っている。児童生徒や市民のスポーツ施設の整備については市長部局で答弁している。森田議員からは手話言語条例制定後の取り組みについての質問であるが、学校での取り組みはいくらか実施しているが充実はしていない。学習指導要領の中には手話についての取扱いはないため、催し物や福祉の集会の際などに実施している。チャオシルの利活用については茶について取り組んだ内容の壁新聞などを衝立などに貼るなど出来るのではないかと答弁している。担当部局と連携して実施していきたい。芦塚議員の読書問題については講談社のキャラバンカーの利用や佐賀女子短期大学の白根先生の講演会を実施した。読書月間の周知のためのポスターを作成してのPRなども行った。来年度はうちどくフェスタ

などの取り組みにメインとして行っていければと思っている。読書会についてはこれまでの歴史もあって塩田と嬉野とで取り組みが違っていたが今後嬉野の取り組みに合わせ塩田も場所の提供や資料の準備を行っていく。俳句と短歌については学習指導要領にも記述があるため指導を行っているが川柳については先生によっては取り上げる方もおられる。山口忠孝議員の幕末維新博に関する子どもたちへの効果については効果はあったと答弁している。山下議員については長崎街道が歴史に果たした役割を教育現場で伝えていくことについては「わたしたちの嬉野市」を利用している旨を回答している。辻議員のスポーツについての質問は、中学校の部活動の種目について答えているが今後は生徒数の減少などですべての部活動の継続は難しいため、今後は地域スポーツとして取り組んでいく必要があるという話になった。

③社会教育行事について

(文化スポーツ推進課長) ・12月1日に子ども文化祭が開催され12団体が参加した。2日はスポレクうれしのとしてソフトバレーとグラウンドゴルフのレクリエーションを実施した。10日はかがやき大学一般教養として唐津市の毛利元就さんに講演を行っていただいた。22日から24日までみゆき公園でデフサッカーの日本代表チームの合宿が行われる。デフサッカーとは聴覚障害者のサッカーチームで、会話は全て手話で行われるため、旅館での対応など気を付ける必要がある。1月20日はみゆきパークランがロードレースに代わって開催される予定である。

(〇〇委員) ・ソフトバレーが多くなってきているようである。

(文化スポーツ推進課長) ・バトミントンコートでするバレーボールでミニバレーのボールを使って4人一組で行う。九州大会などもあっている。

(図書館長) ・12月22日嬉野図書館で冬のスペシャルおはなし会を実施する。23日には塩田津でことばのコンサートを実施する。ぜひご参加ください。

④不登校児童生徒の推移について

(学校教育課事務局) ・30日以上の不登校の出現率は平成30年度中学生は1.42%で前年度から減っているが、小学校は0.43%で昨年を上回っている。中学生は30日未満が11人から2人増えて13人になっている。登校しぶりが増えてきている。小学生は30日以上欠席は4人から6人になっている。今後の見通しとしては大きく増えることはないと思われる。

⑤いじめの状況について

(学校教育課事務局) ・〇〇小の11月に認知1件、覚知1件となっている。被害者児童は自閉症気味である。母親からの申出で発覚したもの。〇〇小はアンケート結果から上がってきた

ものでぶつかられたり金銭をたかられたりといった案件である。〇〇小は本人以外の友達からの情報であり金銭をたかられるなどの被害である。12月の〇〇小はかわれたり金銭をたかられたりといった案件である。

(〇〇委員) ・金銭をたかられたりといった件は親は把握しているのか。

(学校教育課
事務局) ・店などで奢らされたものであり親にも連絡をして指導を行っている。本人はあまりいじめと感じてはいないが親が反応しているものである。

(〇〇委員) ・指導も大切であるがケアも大切であるので適切な対応をお願いする。

⑥時間外勤務状況について

(学校教育課
長) ・11月までの時間外勤務であるが10月の通知表作成時期に比べ少なくなっている。昨年と同じ集計でみると10時間程度減らすことが出来ているがもっと減らす必要がある。

・本来意識改革をして減らすべきであるが現状は無理やり早く帰らせている状況である。

(〇〇委員) ・定時退勤日が決まっているが実際のところどうか。土日の部活動は半日で終わっているのか。

(学校教育課
長) ・学校によって温度差がある。声掛けだけにとどまっている学校もあれば、強制的に施錠して帰らせたりしている学校もある。土日の部活動は個人差が大きいが一部の教員が熱心に取り組んでおり時間外勤務が増えている状況である。

⑦その他

(教育部長) ・国の特例交付金で空調機の設置と改修について要望していたが、国からの内示があり特別教室への新設のみが認められた。

・12月補正について一覧を示して説明

・佐賀県うちどくフェスティバルについて、31年度は嬉野市で10月12日(土)に開催を予定している。

(2) 協議

①平成30年度小中学校卒業証書授与式について

(教育長) ・県立高校の合格発表が3月12日である。中学校の卒業式はそれより前に実施するのが恒例であるが3月8日でいかがか。小学校はその一週間後の15日でいかがか。修了式は3月22日になると思われる。

(3) その他

・次回の教育委員会 1月22日(火)10時00分～

4 閉会

会議録署名委員
